

年頭のごあいさつ「町民の対話と寛容が未来をつくる」

池田町長 矢口 稔

令和八年の年頭を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。吐く息が白く立ちのぼり、田畠の土がきゅっと締まる冬の季節を迎えてます。陽が差すと屋根の霜がきらりと光り、目前にそびえる北アルプスは静かに雪を抱く姿を見せてます。池田町の冬景色は、忙しさに飲み込まれそうな心をそっと整えてくれるようになります。日頃より町政に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

◆ 節目の年を終えて

昨年は、町制百十周年・合併七十周年という節目の年でした。記念式典および関連事業は、町民の皆さまのご支援により無事に終了し、歴史の重みと未来への責務を確かに胸に刻む機会となりました。

◆ 千支「午」に寄せる思い

本年の干支は「午（うま）」です。古くから馬は、人を前に運び、挑戦と勢いを象徴する存在と語られてきました。立ち止まるべきときには落ち着いて立ち止まり、走るべきときにはためらわず駆け抜ける。その柔軟さと力強さを池田町の歩みに重ね、取り組みを進めてまいります。

◆ 「対話」から広がる町づくり

昨年一年間を通して実施した「町長室へようこそ」には、多くの町民の皆さまにお越しいただきました。立場の違いがあっても、町を想う気持ちは共通していることを実感しました。また、秋には中学三年生からの提案も受け入れ「もっと池田を好きになれる仕掛けがほしい」という熱い思いは今も胸に残っています。本年は、その声を施策として具体的に形にしてまいります。

◆ 子育て環境のさらなる充実へ

子育て支援の充実も着実に進みます。交流センターの隣の「かえで広場」には誰もが楽しめる大型遊具がお目見えします。また、新しい民間こども園が開園し、家庭の状況や希望に応じた選択肢が広がります。新たな公園や園舎に響く子どもたちの笑い声は、町の活力そのものです。その力を信じて「こどもがまんなか」として歩んでまいります。

◆ 合言葉は「ただいま★いけだまち」

本年も、池田町が掲げる合言葉は「ただいま★いけだまち」です。日々の暮らしども、遠くにいても、移り住んでも、久しぶりに帰ってきても。「ただいま」と言えば「おかえり」が返ってくる町でありたい。誰をも排除せず、誰に対して

も扉を閉ざさず、温かく迎え入れる「おたがいさま（共助）」の寛容さを町づくりの中心に据えて進んでまいります。

◆ ともに前へ

人口減少や農業の担い手確保、商工業の振興、鳥獣害対策、公共交通、価値観の多様化など、私たちが向き合う課題は決して少なくありません。しかし、守ることと変えることを対立させるのではなく、町民の皆さまとともに考え、迷い、選び、前へ進む姿勢こそが池田町の力になる信じています。対話を重ねることを恐れず、丁寧な町政に努めてまいります。

◆ 結びに

皆さまの一年が健やかで、確かな希望が胸に灯る年となりますよう心より祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

令和八年　元旦